

「つながりのまち摂津」の実現へ、改革を推進します！



# 自民党・市民の会

じみんとう

しみんのかい

2021年1月  
議会報告

vol.2

発行元 自民党・市民の会  
摂津市三島1-1-1 摂津市役所内3F控室

2020年12月議会で

「コロナ対策支援が可決」  
「消防指令体制の変革」  
「副市長2人体制へ」

2020年11月30日～12月17日まで開かれた2020年第4回定例会において、コロナ対策支援の補正予算として、**医療従事者応援給付金・ひとり親世帯臨時特別給付金**(再給付)が可決されました。また、条例では豊中市・吹田市・池田市・箕面市、そして本市の**5市共同での消防通信指令事務**を行うための協議会設置が提出され可決されました。R6年開始としています。

また摂津市副市長の定数を定める条例の一部を改正する条例制定が提出され、可決されました。今後の大規模プロジェクトを統括するため**副市長2人体制**とすることとなります。



**嶋野議員**  
人口と出生数の推移 など  
**光好議員**  
鳥飼のまちづくり など  
**松本議員**  
安全・安心のまちづくり など  
詳細は下記・裏面をご覧ください。

「尖閣諸島周辺海域での中国公船による漁船追尾等に関する」意見書が採択されました。

同意見書は自民党・市民の会で、議会へ提出し、全会一致で採択されました。内容については、我が国の領土である尖閣諸島への不法な中国公船の侵犯に対して、政府の冷静かつ毅然とした態度で、尖閣諸島周辺の領海・排他経済水域における安全確保等の措置を求めたものです。

## 一般質問の概要

### 嶋野浩一郎

自民党・市民の会 幹事長  
5期目(議長2期歴任) / 文教上下水道常任委員会  
住所 摂津市新在家1-8-7-301 電話 06-6340-5609



## 1. 人口と出生数の推移について



### 背景

少子化の克服が我が国の積年の課題であり、自治体が積極的に支援策を講じることが不可欠と考え、議会にて質問。

### 質問

本市の出生数の状況について伺う。

### 市答弁

直近の5年では平成27年の863人がピークで、概ね800人前後で推移している。人口千人あたりの出生数では**平成30年で9.4人と府内で最も高い。**

### 質問

未婚の男女が希望する子供の数は平均で2人となっているが、実際の合計特殊出生率はこれを大きく下回っている。本市でのこれまでの取り組みを伺う。

### 市答弁

本市の合計特殊出生率は全国平均を若干上回っている。保育所の待機児童対策、医療費助成制度等の施策を展開し、**子育て世帯が安心して子育てをできる環境づくりに努めてきたところだ。**

### 質問

3人目以降の出産を支援するなど、**今まで以上に思い切った取り組みが必要**ではないか？

### 市答弁

**3人目以降の出産に対する優遇策を少子化対策として取り入れている**自治体もある。費用対効果を検証し、先進市の事例等を研究していく。

## 2. 特殊詐欺について



### 背景

特殊詐欺による被害は後を絶たず、本市でも少なくない被害が発生している。また若年層が加害者になる事例も看過できず、**抜本的な対策が不可欠**と考え、議会にて質問。

### 質問

最近の特殊詐欺の被害状況について伺う。

### 市答弁

平成30年は22件で3,200万円、令和元年は17件で2,746万円、令和2年(10月まで)は9件で1,844万円の被害状況にある。

### 質問

特殊詐欺の被害防止の体制強化の1つとして**消費者安全確保地域協議会の発足**が考えられるが、見解を伺う。

### 市答弁

消費者安全確保地域協議会のメリットとして、必要関係者間で個人情報を共有し、対応に当たることができると規定していることが挙げられる。**関係機関の連携を更に強化するため、設置を検討していく。**

### 質問

本市の児童・生徒が将来に亘って**特殊被害の加害者にしない**ための取り組みについて伺う。

### 市答弁

昨年度より府警本部の啓発チラシを全校に配布し、防止に向けた取り組みを行っている。今後は**非行防止・犯罪被害防止教室でも取り上げ、啓発を強化していく。**

## 一般質問の概要

# 光好ひろゆき

1期目 / 民生常任委員会

住所 摂津市鳥飼西2-18-14-6

電話 072-665-5608



## 1. 葬儀会館せつつ メモリアルホールについて

### 背景

メモリアルホール南側駐車場は、砂利敷きである為、高齢者や女性など多くの市民の方々から整備を望む声が上がっており、委員会や一般質問を通じて、度々要望して来た。進展があった為、今議会でも質問。

### 質問

市民の声を受け、本年度に駐車場整備が予算化され、具現化に向け取り組まれていることを高く評価する。その進捗状況を問う。

### 市答弁

駐車場整備工事については、令和2年中に施工業者が決定する予定であり、令和3年1月～3月に掛けて実施する予定である。

## 2. 鳥飼地域における 道路交通環境の改善について

### 背景

大阪高槻線は、平成26年に都市計画道路が廃止されて以降、整備が局所的である。一方、鳥飼仁和寺大橋が令和8年度に無料化され、今後、本市の道路交通環境が大きく変わって来る為、今議会でも質問。

### 質問

市民からは、淀川堤防上の道路拡幅を望む声も上がっており、鳥飼仁和寺大橋無料化など今後の交通環境の変化を見据え、鳥飼地域の道路整備を包括的に実施すべきと考えるが、市の見解を問う。



### 市答弁

自転車通行空間の整備、通学路、及び、未就学児や高齢者等の交通安全対策、狹隘道路の拡幅整備など、広域幹線道路から市民生活を支える道路まで、鳥飼地域の良好な道路交通環境となるよう総合的に取り組んで参る。

### 質問

鳥飼まちづくりのアンケート調査結果では、公共交通などの移動支援の充実を望む声が多くを占め、地元からは、大阪モノレールや大阪シティバスの延伸を望む声もある。今後の鳥飼地域の交通の取り組みについて、市の見解を問う。

### 市答弁

既存公共交通の利用実態とニーズを的確に把握し、例えば、福祉の観点からの高齢者支援策や需要が少なく狹隘な道路が多い地域では、AI交通などの新たなモビリティを導入するといった更なる支援策について、併せて検討して行く必要があると認識している。

## 3. 鳥飼地域の まちづくりについて

### 背景

現在、鳥飼まちづくりランドデザイン策定に向けて取り組んでおり、これまでの議論を踏まえ、引き続き、今議会でも質問。

### 質問

地元懇談会が開催されているが、これまで庁内やプロジェクトチームなどで検討・整理された課題や、まちづくりの方向性や素案を示し、より具体的な議論を進めるべきと考えるが、市の見解を問う。

### 市答弁

今回の地元懇談会では、住民アンケートの分析結果や鳥飼地域の課題等をより詳細にお伝えし、これまでの懇談会でのご意見や、事業所等へのヒアリング内容等を勘案してランドデザインについて具体的にイメージできる内容を示し、意見を頂く場としたい。

### 質問

魅力ある鳥飼のまちを描く為には、地元の意見や、これからの若い世代や幅広い世代の意見を抽出し、外部からの客観的な意見や発想などを反映させることが重要と考える。ランドデザインにどう反映させて行くのか?市の見解を問う。

### 市答弁

住民アンケート結果や地元懇談会で頂いたご意見、事業所等に対するヒアリング結果を課題への対応方針や具体的な施策等にできる限り反映できるよう検討して参る。



## 一般質問の概要

# 松本あきひこ

1期目 / 総務建設常任委員会

住所 摂津市別府1-4-6-505 電話 06-6349-2515

松本あきひこ 検索 <https://www.matsumotoaki.com/>



## 1. 新しい危機管理体制での災害対応力の 維持・向上への取り組みについて

### 概要

令和2年度からの防災担当の理事と、防災危機管理課での新しい危機管理体制において、SOSメソッドの打ち出しやコロナ禍での避難所設営訓練などに取り組んでいる中、市外避難者との市とネットワーク構築や広域連携を踏まえた災害対策本部機能強化など、そして将来に向けた災害対応力の維持・向上について議論を行った。

### 質問

11月20日に別府コミセンで、コロナ禍想定での避難所設営訓練を実施されたが、このような実践的訓練を自主防災訓練へ普及すべきだが、市の見解を問う。

### 市答弁

感染症対策にも留意した避難所ごとの運営マニュアルを今年度中に策定し、各自主防災訓練において活用していただけるよう積極的に働きかけて参る。

## 2. 健都の健康寿命延伸の取り組みと 小・中学校給食との連携について

### 概要

健都の国循や健栄研の健康寿命延伸の専門的知見と小・中学校給食・食育とを連携させることの重要性和、全児童・生徒の健康と成長を支える為に、また社会ニーズも踏まえて、中学校で全員喫食を行うことができるセンター方式の検討などについて議論を行った。

### 質問

本市は健都を中心に健康寿命延伸のまちづくりを行っている。それを踏まえ、健都の国立循環器病研究センターや国立健康栄養研究所と食育や給食を連携させることを検討すべきだが、市の見解を問う。

### 市答弁

育ち盛り子どもたちにとって、栄養バランスのとれた食事は重要である。今後、国立健康栄養研究所や国立循環器病研究センター等の知見から、学校給食への助言や献立の提案等をいただけたら、学校給食に取り入れて参りたい。

### 質問

現状、中学校給食は選択制で、生徒が選びたいと思うこと、生徒目線に立った工夫が必要だが市の見解を問う。

### 市答弁

生徒目線の工夫につきましては、一定必要である。今後につきましては、例えば牛乳の代わりに乳酸飲料や、カレーなどの子どもが好む献立を定期的に取り入れたりするなど、生徒が選びたくなるような生徒目線の試みを実施してまいりたい。

### 質問

女性の社会進出も踏まえ、中学校給食の社会ニーズは減ることはない。改めて全ての生徒に提供する場合、どのような課題があるか。

### 市答弁

選択制の中学校給食には、様々な課題がある。全員喫食について「センター方式」が適している調査結果もある。センター方式も用地の問題やコストの問題が大きな課題だが、今後、具体的な事業計画に向け、検討する。

### 質問(要望)

是非、センター方式を行って中学での全員喫食も実現し、子ども達一人ひとりの健康と成長を支えるよう要望する。

### その他の質問

・健都からJR千里丘駅一帯等での成長重点エリアとしての取り組みに向けて  
・ちっちゃな摂津のでっかなダンス野望の実現とシティプロモーションについて

